

（事業名）めざせ！ねざせ！「みんなで一緒に，体操服のリユース・リサイクル」

（団体名）体操服！いってらっしゃい，おかえりなさいプロジェクト（tiopro）

平成27年度 助成金額 417,244円 主な実施場所 京都市内の全小中学校

事業目的・概要—日常生活の一部になるように

プロジェクトがスタートしてから，欠かさず，学校現場を見学しています。校長先生と深く対話をし，良い部分よりも，悪い情報や課題を少しでも先生方から聞き出し，収集することに注力しています。その行動を通じて，あぶり出されてきた，現在抱える最大の課題は，熱心に参加頂いている学校でありながら，プロジェクトの事を全く知らない児童が存在するということです。その原因を追及していけば，担任の先生が内容を深く理解していなかったり，日々の業務が多忙を極め，十分に児童に伝え切れていなかったり，伝える回数がすくなかったりと言う原因がありました。そこで，児童へは，環境教育とリンクさせた方法，保護者へは，毎日の様に使用されるスマートフォンと SNS をリンクさせた方法，児童，保護者それぞれの日常生活に寄り添う様な，一部分になるような，PR 方法でプロジェクトを伝えました。



取組内容—LINE スタンプとシンボルマーク

保護者の皆様からの「私達も活動に参加したい」「体操服をリユース，リサイクルしよう」と伝えたい，発信したい」と言う声に応える為に，LINE スタンプを作製し，多くの保護者に，体操服のリユース・リサイクルを呼びかけて頂こうと考えました。保護者同士はコミュニケーションの手段に SNS である「LINE」を多用されています。文字だけの呼びかけではなく，視覚を刺激する「LINE スタンプ」を使用することで，より長く記憶にとどめてもらう，より楽しくプロジェクトを共有してもらうことを目指します。

また，プロジェクトに参加する児童の数は膨大です。色々な性格を持っています。様々な家庭環境で成長しています。そこで，プロジェクト側から PR するだけでは，全員に体操服のリユース，リサイクルを伝え浸透させることは不可能なのではないか，一方通行の情報発信には限界があるのではないかと，言う課題を感じる様になりました。そこで，「参加型」「手や体を動かす」「楽しむ」「ドキドキする」「ワクワクする」と言うキーワードが盛り込まれた，子ども達の五感を刺激する方法でプロジェクトを今一度，児童に伝えたいと考えました。



そこで、全 13 校で一丸となりご参加頂いている山科区の小学校と児童にご協力頂き、約 6500 名の子ども達全員が参加してシンボルマークを作製しました。最初に、どの様なロゴが児童に好まれるのか、アンケート調査を実施し、山科区の大宅小学校を卒業された女性のデザイナーにロゴマークを 3 種類製作していただきました。また、全児童には「エコやリユース・リサイクル」をテーマにした標語も考えて頂きました。完成した 3 デザインを、全児童が任期投票で選び、山科独自の啓発用シンボルマークを制定しました。このマークは、地元の販売店様のご協力により、体操服に装着されます。



成果—問い合わせが殺到！

●LINE スタンプの製作について

どのようなスタンプを作製するのかは、運動会等に参加し、実際の子ども達の行動を観察させて頂きながら考えました。

そして、ラフ案を元に学校の先生や PTA 委員と一緒にブラッシュアップ作業を行い、完成版を仕上げさせて頂きました。今後は、LINE スタンプの PR 方法を考え、しっかり PR し、多くの方に活用広めて頂ける流れを作っていきます。

●山科 13 小学校でのエコ・シンボルマークについて

何度も校長先生と相談し、約 8 ヶ月の時間をかけて、完成を目指しました。全校生徒へのアンケート調査が終わったタイミングで、学校を再訪すると、複数の児童から、「体操服のエコの人や！」「体操服リユースしたで！」などの声を掛けられました。その後、全児童に一人に一つ標語を応募して貰い、シンボルマーク最終 1 案を選ぶ人気投票が終わった頃には、学校や販売店に、いつから体操服にマークがつくのか、等の問い合わせが殺到し始めました。

上記の様な、土台作りも手を抜かず実施し、助成金を活用させて頂き作製配布した「説明冊子とパネル」の伝える能力を最大限に引き出せる様に努力しました。

新規参加校には全学年に配布し、過去に配布実績のある学校には、新一年生限定で配布をして頂きました。

また、「配布して終わり」ではなく、必ず学校を再訪し子ども達にヒアリングを行っています。4 年前に説明冊子を配布した小学校の 6 年生（約 250 名）を対象にアンケートを取った結果、約 240 名の児童が説明冊子の内容を記憶していました。

この学校では、リサイクルよりもリユースの割合が多いとの結果も出ています。当初はリサイクル>リユースだったのですが、説明冊子の配布以降は割合が少しずつ逆転し始めたと、校長先生から伺いました。

パネルに関しては、新たに 7 校の小学校で、職員室付近に掲示をして頂きました。その他、学外活動の場でも展示をして頂き、多くの方々に PR する為の有効なツールになりました。

(団体名)

【代表者】 創始者 岡部達平 【主な活動地域】 京都市内の全小学校

【ウェブサイト】 www.tiopros.net

【設立の目的】

将来の地球を担う子ども達に、地球環境に優しい生活を実践できる力を身につけて欲しい。

その一役を担うべく「体操服！いってらっしゃい、おかえりなさい」プロジェクト（以下、Tiopro）を設立致しました。本プロジェクトは、体操服のリサイクルを通じて環境を学ぶことができる「環境教育」、子ども達参加型の実践的なリユース・リサイクルによる、CO2 排出量 & エネルギー消費量の削減・ごみの減量等の環境への貢献も可能です。行動しながら学べる画期的な「実践型環境教育」スタイルで子ども達に自信を与えます。この教育と実践が融合した、リユース・リサイクルスキームが最大の特徴です。当実行委員会は、リユースとリサイクルの構築・普及推進・学校に対するサポート等、プロジェクトの円滑な推進の為、運営全般を担う事を使命として設立致しました。

【主な活動内容】

- プロジェクトの普及啓発
- リサイクルスキームの構築
- 児童のリユース・リサイクルの実践サポート